

令和7年度 第2回下野市地域自立支援協議会 議事録

日 時 令和7年7月29日(火) 午後1時30分～午後3時30分
場 所 下野市庁舎 203 会議室
出 席 者 欠席者6名 野中委員、本橋委員、水本委員、本田委員、阿部委員
アドバイザー:大嶋コーディネーター
傍 聴 人 なし
審議内容 (原則として発言委員名を明記し、発言の要点のみを記載している)

第1部 全体会 午後1時30分～午後2時10分

1. 開会

社会福祉課 篠崎課長

欠席報告 野中委員、本橋委員、水本委員、本田委員、阿部委員、大嶋委員

2. 会長あいさつ

3. 議事

議事録署名人に大枝委員、仙頭委員を指名し了承。

(1) こども部会からの報告

(事務局)

資料1に基づき報告。

(鱒淵会長)

連絡会を開催してみて、事務局の実感としてはどうか？

(事務局)

今までは連絡会が無かったが、放デイと学校との繋がりや各施設の問題・課題があることを実感できる。障がい児、障がい者にとっては様々な場所との連携が非常に大切になってくると思うので、情報共有しながら意見交換を行っていきたい。

(2) 下野市障がい児者相談支援センター活動報告

(児者センター報告)

資料2-1、2-2 及びパンフレットに基づき報告

(山口委員)

2 ページ目、就労 B の在宅利用の在り方について検討が必要であるとのことだが、どのような検討が必要であると協議されたのか？また、現状で在宅利用が認められているのか教えて頂きたい。

(事務局)

下野市内にウーリー自治医大という事業所がオープンしており、在宅の就労Bを推している事業所となっている。下野市では現状、在宅の就労Bは認めていないが、周辺市町で認めていることが多いことを考えると、下野市も今後どうしていくのか考える必要がある。

(3) ふくしフェスタについて

(事務局)

資料3に基づき報告

(鯉淵会長)

毎年、自立支援協議会として参加させていただいている。子どもたちに対するワークショップを実施し、各部会の活動内容等を展示するなど、自立支援協議会を理解していただく機会として活動している。各部会の皆さまにもご協力をいただき、各部会として何か活動報告できる内容を検討していただきたい。

昨年実施したきらきらドームは何名くらいの方がきたのか？

(事務局)

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

去年は 144 名の方が来られた。

(鯉淵会長)

この後の部会の中でも、ふくしフェスタにどのような形で参加するかを含めて協議をしていただきたい。

(4) 日中サービス支援型共同生活援助に係る評価について

(事務局)

資料 4-1、4-2、4-3、4-4、4-5、4-6 に基づいて報告

(鯉淵会長)

報告のあった内容を読み込んだうえ、第 3 回自立支援協議会までにどこまでの意見をまとめておけばいいのか？また、今後施設が増えていった時に、どこまで自立支援協議会の中で検討していかなければならないのか説明願いたい。

(事務局)

第 3 回目の自立支援協議会までに、意見やコメントを記入できるような様式を作成するので、そちらの様式で報告をお願いいたします。本日提示させていただいた資料の内容を確認いただき、「事業所としてもっとこうあるべき」「もっとこういった部分を確認するべきでは？」「この部分を改善することでこの部分の運営がよくなる」など、皆様のご意見を集約させていただき、まとめたものを第 3 回協議会でお示ししたいと考えている。そこで改めて皆様のご意見を聴取し、「評価」を決定したうえ、事業所へ提出したいと思う。

ABC リビングの方も日中支援型のグループホームとなっているため、来年度は3事業所を評価することが確実である。今後、対象事業所が増えていくことで、この本会議での協議が、本来あるべき協議ができなくなってくる恐れがある。そのため、日中支援型GHの評価に関わるWG部会の立ち上げも検討していかなければならないが、具体的には詰めていないため、年度末までに相談できたらと思っている。

(鯉淵会長)

日中支援型GHを自立支援協議会に諮り評価をしていくことで、各GHも取組みを前向きにくださるという意味では非常いいことだと感じている。今後、同様のGHが増えていくことが想定されるが、いかに要件を絞って簡略化させながら自立支援協議会で検討できるかを考えていき、お互いにとって良い内容となるよう進めていきたいと考えている。

(事務局)

パワーポイント(写真・スライド)に基づいて報告

(鯉淵会長)

利用者の服薬を、誰もが出入りできる脱衣所で管理しているという事が気になるかどうか？事務室に保管することはできなかったのか？

(事務局)

使用していない浴室(一般浴)の脱衣所であったが、施錠ができる部屋がこの場所しかなかったとのこと。事務室はあるが部屋が狭く置ける場所が確保できなかったよう。補足として、仁良川と下古山での大きな違いとして、仁良川は常時看護師が常駐していることで医療的ケアが必要な利用者が多いのが特徴である。下古山については看護師が常駐しておらず、精神患者や介護サービスを利用するご高齢の方が多いのが特徴。

(山口委員)

冒頭の説明で支援の外部委託とあったが、どのような内容なのか確認したい。

(事務局)

就労B型に行ったり、生活介護に行ったり、デイサービスを使ったりなど、介護保険サービスや障がいサービスを使っている方で、本来であれば、日中支援型GHということであればGH内で何かしらプログラムがあり、リハビリを行ったり、体操を行ったりするなど、事業所内でのリハがもう少しあっても良かったというのが本音ですが、無資格の方が世話人をやっているなど、その部分のサービス提供が難しいということで外部の支援を使用しているということである。

(鯉淵会長)

8月にオープンするABCリビングも日中は地域の生活介護を利用するという話もあり、来年できるピアしらとりのGHも日中は地域にあるB型や生活介護を利用する話もある。24時間365日GHに居るというよりも、日中活動の場が外にある方がより利用者

の方にとっては生活の幅が広がってよいと思う。

(5) 就労選択支援事業所(はくつる会)について

(事務局)

資料 5-1、5-2 に基づき報告。

第 2 部 部会 午後 2 時 35 分から午後 3 時 30 分

各部会に分かれ、部会協議事項に沿って検討、協議。

【相談部会】

(目標 1)

継続目標として初任者研修を予定し、実施後にフォローアップ研修を予定している。

障がい児者相談支援センターがバックアップ機能を有しているが、困難なケースが増加しており、初任相談員の負担が大きくなっている。そうしたケースに苦慮する相談員に対し、フォローアップ研修を実施することで、相談支援専門員としての基礎やノウハウを強化し自信に繋げていく。

(目標 2)

施設従事者のフォローアップとして、「管理者」と「従事者」の研修会を実施する。

研修内容としては「AI を使用した業務管理」や「障がい者の性について」を題材に研修を予定している。

(目標 3)

地域活動支援センターゆうがおの周知やあり方について検討する。

まずは実際に見学し、活動内容を把握する必要がある。一般に周知するには、「ゆうがお」の日を公開することや、地域住民のボランティア育成をするなど、検討する必要がある。

そのため「地活ゆうがおどんどこ？？」見学ツアーを計画したうえ、部会にゆうがおStと呼び、現場での困りごとや現在の動きなどについて確認し協議を行っていく。

【就労部会】

(目標 1)

就労選択支援をどのように進めていくのかを検討する。

・生徒が校内実習をしている場所に就労選択支援員が訪問し、就労アセスメントを実施するのか？就労選択支援事業所に通所してもらい就労アセスメントを実施していくのか？はくつる会と国分寺特別支援学校で協議していく。

・地域の利用者を対象とした就労選択支援の進め方も検討していく必要がある。

・利用者が就労選択支援事業所まで自力通所となるが、送迎サービスは実施されるのか？

・生活介護の方がふさわしいと判断される対象者も就労選択支援を利用しなければならな

いのか？対象者が 1 ヶ月間、就労選択支援の実習に耐えることができるのか？など、課題を協議していく。

(目標 2)

就労選択支援に関する支援内容を周知し、障害者の就労に関する理解促進を図るため、市広報誌により就労選択支援についての講義・意見交換会の報告を掲載していく。

【こども部会】

第 1 回児童発達支援・放課後等デイサービス事業者連絡会を 6/30 に実施。

顔の見える関係になることで連携しやすくなる効果が期待できる。

(1) 学校との連携について

学校側に福祉と連携するメリットを理解してもらう必要がある。

連携しやすいモデルケースから始めていくため、リハ職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)に研修の講師を務めてもらうのはどうか？学校教育サポートセンターに協力を依頼できるのでは。

(2) お子さんに発達障がい特性があっても、保護者側の受入れが難しい場合、どのような時に受入れやすくなるか。

就業前健診や運動会など、集団の中にいるお子さんを見た時に周囲との違いに気づく。「本人にとって過ごしやすい環境を」「本人が成長するかも」など、お子さんのことを考慮した助言やサポートが必要となる。

(3) 連絡会について

第 1 回連絡会において、虐待について研修をして欲しいとの意見あり。

・暴れている子の身体を抑えて、本人が動けない状態にすることは身体拘束にあたるのか？

・虐待についての研修ならば、児童館・学童支援員の研修と合同にしてもよいのでは？

・こばと園の保護者研修会と抱き合わせで実施したが、今年度は別で実施。こばと園の研修にも各事業所が参加できるよう周知をする。

4. 閉会

議事録署名人 _____
